

派遣留学体験報告書（オンライン留学）

参加年度（出発年度）	2020年度	
オンライン留学先国	ベトナム	
オンライン留学先大学	ハノイ国家大学人文・社会科学大学	
プログラム開始日	2020年10月26日	
プログラム終了日	2021年6月26日	
今回の留学にかかった費用		0
留学の目的とその達成度合	渡航できなかったため、現地で学ぶよりは得られるものは少ないことを承知で何もしないよりはむしろオンライン留学に参加しました。ベトナム語能力の維持と向上を目標に掲げ、毎日2時間の授業で達成することができたと思います。	
留学を通して得たもの（スキル、経験）	よりアカデミックなベトナム語、現地の若者が使っているベトナム語を学べた。また、スピーチの仕方や作文の方法も学べた。	
留学先大学への支払い方法	-	
履修した科目	ベトナム語	
授業内容	B1-B2レベルの教科書を用いて文法を学んだ。作文の課題も多く出た。	
授業の開講時間および現地時間との時差	12:00~14:00、16:00~18:00（時差2h）	
外大の授業との両立について	3年の秋は外大の授業9コマ+留学先の授業を毎日2時間履修していたので忙しかったが、4年の春は外大の授業を2コマしかとっていなかったためだいぶ余裕があった。就活と両立させていた時は少し忙しかった。	
授業内容やプログラム全体に対する感想	結局渡航できなかったが、多くを学べたのでオンライン留学をしてよかったと思う。1年生の時に短期留学でお世話になった先生とも再会できた。	
現地学生や他国からの留学生とのオンライン交流について	上記のような機会はなかった	
交流活動の具体的内容	-	
プログラムに対する満足度 （10段階：低1～高10）		8
その他（参加前に準備すべきこと、直面した課題、全般的な感想）	-	
今後の予定について教えてください。	派遣（交換）留学プログラム終了	
「その他」を選択した場合、今後の具体的な予定を記入してください。	-	
今後オンライン留学する学生へのアドバイスなど	迷っているならやってみる価値はあると思います。	

派遣留学体験報告書（オンライン留学）

参加年度（出発年度）	2020年度
オンライン留学先国	ベトナム
オンライン留学先大学	ハノイ国家大学人文・社会科学大学
プログラム開始日	2020年10月26日
プログラム終了日	2021年6月26日
今回の留学にかかった費用	0円
留学の目的とその達成度合	目的：ベトナム語の習得☑ 達成度合：最終テストではC2を取得した。聞き取りや会話の能力が特に向上した。
留学を通して得たもの（スキル、経験）	コロナの影響で渡航が叶わず残念だったが、オンラインでも語学力の成長を実感できた。毎日2時間ネイティブの先生のベトナム語に触れていたため、プログラム開始当初と比べて聴解力や会話の対応力が増したと思う。
留学先大学への支払い方法	その他
履修した科目	ベトナム語B1、B2
授業内容	メールで送られてきた教科書（PDF）に沿って学習した。ベトナムの文化や習慣、社会などを学びながら文法や語彙を覚えた。宿題も週に一回くらいあった。（読解や文法、作文）☑ 2人の先生が交互に教えてくれた。
授業の開講時間および現地時間との時差	月水金：16:00-17:50☑ 火木：12:00-14:00☑ 時差は2時間。
外大の授業との両立について	3年生の間は外大の授業を8コマ、留学先大学の授業を5コマ（1コマ110分）履修。☑ 受講人数が少なかったため、外大の授業のスケジュールに合わせて開講時間を調整してもらえた。☑ 課題やテストなどがそこまで大変ではなかったので両立できたが、授業数が多かったので平日は忙しかった。☑ 4年生になってからは外大の授業が2コマ（どちらも月曜）に減ったので、特に問題はなかった。逆に毎日ベトナム語に触れる時間ができたので良かった。☑
授業内容やプログラム全体に対する感想	2人の先生のうち1人は授業中も発言する機会が多く、初めは大変だったが徐々にベトナム語での会話に慣れることができた。もう1人の先生はあまり授業中に質問されたりすることがなかったが、単語や文法、ベトナムの文化的背景などをとても丁寧に説明してくれたので分かりやすかった。
現地学生や他国からの留学生とのオンライン交流について	上記のような機会はなかった
交流活動の具体的内容	-
プログラムに対する満足度 （10段階：低1～高10）	8
その他（参加前に準備すべきこと、直面した課題、全般的な感想）	-
今後の予定について教えてください。	派遣（交換）留学プログラム終了
「その他」を選択した場合、今後の具体的な予定を記入してください。	-
今後オンライン留学する学生へのアドバイスなど	まだ今後の状況が読めず、留学できるかどうか不安な方もたくさんいらっしゃると思います。私もずっと楽しみにしていた留学が日に日に現実味を失っていき、とてもつらかったです。でも、気持ちをすぐに切り替えてオンラインに移行してよかったと今は思っています。毎日2時間だけでもベトナムと繋がって楽しく勉強ができて、素敵な先生や学生さんとも出会えて、とても充実した8か月間を過ごせました。現地での学習に越したことはないと思いますが、まだ渡航が叶わない場合は、オンライン留学という選択肢も考えることをおすすめします。外大の授業や課題との両立は大変かもしれませんが、頑張って勉強した分だけいろんなことが身につくし、良い経験ができると思うので、ぜひチャレンジしてみてください。

派遣留学体験報告書（オンライン留学）

参加年度（出発年度）	2021年度
オンライン留学先国	ベトナム
オンライン留学先大学	ハノイ国家大学人文・社会科学大学
プログラム開始日	2021年9月13日
プログラム終了日	2022年2月22日
今回の留学にかかった費用	0円
留学の目的とその達成度合	後半の現地渡航に向けて、語学力の維持及び向上を図るため。三年次は語学の授業数が少なくなるため、一・二年次に培った言語力を低下させないことを目的とした。少人数のクラスであったため、以前よりも話す機会が増えた上に、語彙も増やすことができた。結果としてはオンライン授業であってもこの機会を十分に活用して良かったと思っている。
留学を通して得たもの（スキル、経験）	ベトナム語を話すことに抵抗がなくなった。クラスでの授業だと、多くの生徒がいる中で発言をするのは少し憚られる雰囲気がある。しかし今回は2対1の授業であったため、1人ずつネイティブの先生と会話をする時間が十分にあり、スピーキングの能力が鍛えられたと感じている。
留学先大学への支払い方法	0
履修した科目	ベトナム語B1, B2, C
授業内容	授業ツールはZoom, Microsoft Teams, Skypeを用いたビデオ通話。教科書はPDFの形式でメールで渡されるため、紙に印刷もしくはiPadで直接書き込んだ。授業には先生が1人と生徒が2人の3人が参加する。（日本だけではなく）他の大学の生徒にとっても同じ時間帯が都合がいい場合は、一緒に授業を受ける可能性もある。期末テストのみ、一緒に授業を受けていない他の大学の生徒と合同で行われた。
授業の開講時間および現地時間との時差	月、水、金16:00～17:40☑ 火10:00～11:40☑ 木9:00～10:40☑ （全て時差2h）☑ 最初は月～金16:00～17:40で指定されたが、部活の関係で火、木のみ時間帯を変更してもらった。☑ 先生の都合が良ければ、時間帯の変更にも柔軟に対応してくれる。☑ また、先生によって間に10～20分の休憩時間が設けられる。☑ その場合は、終了時間がその分後ろ倒しになる。
外大の授業との両立について	外大の授業を6コマ、オンライン留学の授業を5コマ（1コマ100分）履修。オンライン留学をメインとするため、外大の授業は控えめにしたつもりだったが予想外に課題が多く、部活もバイトもあって毎日が忙しかった。オンライン留学の予習を直前になって焦ってやるが多かった。
授業内容やプログラム全体に対する感想	とても満足しています。オンライン留学のテキストは外大で使用していたものと仕様が似ていたため、とてもわかりやすかったです。テキストの内容だけではなく、Webサイトを使ってベトナムの時事ニュースなどにも触れてくれたので、後半の現地渡航に対するモチベーションの維持にもなりました。
現地学生や他国からの留学生とのオンライン交流について	上記のような機会はなかった
交流活動の具体的内容	-
プログラムに対する満足度 （10段階：低1～高10）	10
その他（参加前に準備すべきこと、直面した課題、全般的な感想）	-
今後の予定について教えてください。	現地渡航し、同じ大学の派遣（交換）留学プログラムに参加
「その他」を選択した場合、今後の具体的な予定を記入してください。	-
今後オンライン留学する学生へのアドバイスなど	私は当初、オンラインで留学するのって意味あるのかな・・・と感じていましたが、終えた感想としては語学力がとても身についたと感じています。平日は毎日授業があったので、日課として一日の決まった時間だけベトナム語を話していたのが良かったのだと思います。やはり言語の勉強はコミュニケーションが大切なので、自分が話す機会が多い方が絶対にいいです。正直、先生の話聞いてばかりの日はあまり習得したものがありませんでした。特に発言を求められていなくても、先生の言葉を繰り返すだけでも、自分の耳が音を覚えて言語のリズムがわかってきたような気がしました。特に、これから留学を控えている方の準備として、オンライン留学をお勧めしたいです。

派遣留学体験報告書（オンライン留学）

参加年度（出発年度）	2021年度
オンライン留学先国	ベトナム
オンライン留学先大学	ハノイ国家大学人文・社会科学大学
プログラム開始日	2021年9月14日
プログラム終了日	2022年6月24日
今回の留学にかかった費用	0円（授業料・教科書代は元々免除。オンライン形式の留学であったため、実家から授業を受けていた。）
留学の目的とその達成度合	ベトナム語の運用能力向上、ベトナムの文化・歴史・政治等について学ぶことが目的であった。オンライン留学ではあったが、毎日の予習・復習、課題、プレゼン、講師陣との会話を通して、運用能力を向上させることが出来た。また、講義内で触れる現地のメディアや講師との会話から、現地の文化（都市部+農村部の文化）、ドイモイ期前後の歴史、現在の政治体制（共産党の一党体制）について見聞を深めた。
留学を通して得たもの（スキル、経験）	言語面：ハノイ国家大学人文社会科学大学の期末試験（4技能検定）にて、最高レベルのC2（CEFR基準に準拠）に到達することが出来た。☑ 経験：現地の言葉で、現地の講師陣と会話する中で、文化に飛び込むとはどういうことなのか、互いの文化の違いを認めるとはどのようなことなのか、身をもって学んだ。（日本の文化とベトナムの文化との違いに関して討論したり、文章にまとめる中で上記のように考えた。）
留学先大学への支払い方法	その他
履修した科目	・ベトナム語読解・作文（毎週月曜日・水曜日）☑ ・ベトナム語聴解・会話（毎週火曜日・木曜日・金曜日）
授業内容	オンライン留学ではラップトップを使用。（Zoom, Skypeを使用）☑ 1.ベトナム語読解・作文☑ ：『Thuc hanh tieng Viet-Trinh do B/C』という、中・上級者用の教科書を使用して授業を受ける。教科書は章立てになっており、各章1トピック（政治、文化、職業、ジェンダー等）の構成になっている。（1週間に1トピック）教科書の文章・問題を解き、発表+答え合わせをする。その後、そのトピックに関して、作文orプレゼンを用意して、提出or発表。講師からフィードバックをもらい、学習に役立てる。☑ 2.ベトナム語聴解・会話☑ ：現地のメディア（VNエクスプレス, ニャンザン紙(Bao Nhan Dan),ベトナムテレビ（VTV））の記事・ニュース番組を教材として、聴解を行う。その後そのトピックに関して、講師から質問・課題が出されるため、それに関して即興で自身の考えを述べる。
授業の開講時間および現地時間との時差	毎日16:00~18:00（現地時間14:00~16:00、時差2h）☑ 日本・ベトナム間の時差は2時間だけなので、生活への支障はほぼない。
外大の授業との両立について	毎週外大の授業4コマ（卒論関係・主専）、留学先の講義5コマ履修。留学先の予習・復習、テスト準備、講義内で話す内容を予想して、自分でまとめておくなど、突き詰めようと思えば、いくらかでも大変になる。私自身は、2年生までにある程度単位を取得しておいたので、比較的余裕があった。留学の方に集中するため、外大の授業の方は、早めに済ませておくことをお勧めする。
授業内容やプログラム全体に対する感想	何よりも現地に行けなかったことが残念だったが、それでも、とても充実したプログラムだった。現地でなく、オンラインでパソコン越しで話すだけであるため、ベトナム語力を向上させることが出来るか不安であったが、先生方との会話、学習、課題を通して、ベトナム語力を向上させることが出来た。☑ （ただ、やはり日本にいるため、授業が終わって日常生活に戻ると、日本語だけになってしまう。なので、外大のネイティブ講師と会話を積極的にして、留学で学んだことを日常生活でもアウトプットできるような環境を作った。）
現地学生や他国からの留学生とのオンライン交流について	上記のような機会はなかった
交流活動の具体的内容	
プログラムに対する満足度（10段階：低1～高10）	9
その他（参加前に準備すべきこと、直面した課題、全般的な感想）	上記のように、講義を通して言語の上達を計ることはできる。しかしながら、一度パソコンをシャットダウンしたら、そこからはいつも通り、日本語のみになってしまいかねない。（現地であれば、派遣先の大学の友達と遊びに行ったり、観光したり、ご飯を食べたり、買い物に行く中で、現地の人と会話＝学んだことのアウトプットができる。）☑ なので日本にいる場合であれば、外大にいるネイティブ陣、語科の教授、留学生の方に協力してもらい、アウトプット量を主体的に多くした方がいい。
今後の予定について教えてください。	派遣（交換）留学プログラム終了
「その他」を選択した場合、今後の具体的な予定を記入してください。	0

今後オンライン留学する学生へのアドバイスなど

コロナウイルス感染拡大も終息に差し掛かっており（2022年6月末現在）、そろそろ元の日常に戻る気配が見えてきたため、後輩の皆さんには、僕と同じ経験をすることなく、現地での生活を最大限享受していただくことを心より願っている。☒

☒

仮にもし、オンライン留学を余儀なくされた場合でも、決して卑屈にならないでいただきたい。たとえオンライン留学でも、講義の内容に変わりはない。さらに国内にいても、言語のアウトプットの機会を設けることはいくらでもできる。（コロナ禍になり、「オンライン」という選択肢が生まれたことで、離れていても、パソコンを通してできることがかなり増えたように思う。）☒

☒

どのような形式であれ、留学の1年間がみなさんにとって実りある1年になることを心より願っております。